

震災対策用応急給水施設（緊急耐震貯水槽）

名称	生駒東小学校グラウンド
住所	生駒市東生駒4丁目398番地110
容量	100m ³
完成年度	2001年
概要	<p>生駒東小学校内（運動場南側）において震災時に飲料水と消防用水として利用するための貯水槽（容量100平方メートル）を設置しています。</p> <p>1. 平常時は水道管の一部として機能しておりいつもきれいな水が流れています。</p> <p>2. 地震時に水道管が破損した場合には、緊急遮断弁が作動して供給します。</p> <p>3. 災害時には1人1日3リットルの飲料水が必要です。（この貯水槽には10,000人対象で3日分の飲料水が確保できます。）</p>

案内版（小学校北側道路）



案内板には、上記の概要分の内容が掲載されています。

耐震貯水槽 機材倉庫（小学校グラウンド南側）



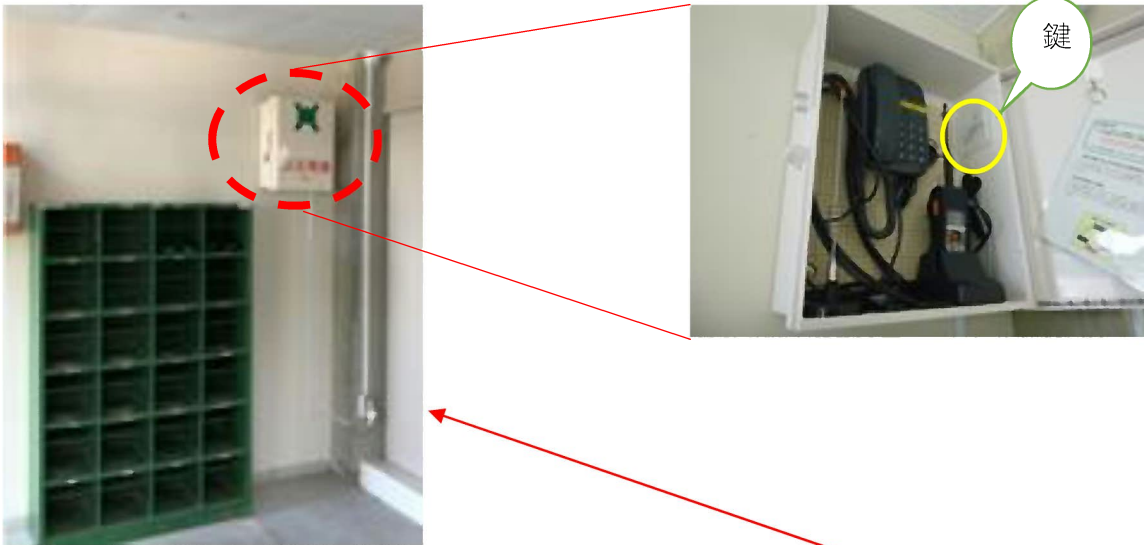
倉庫内の様子



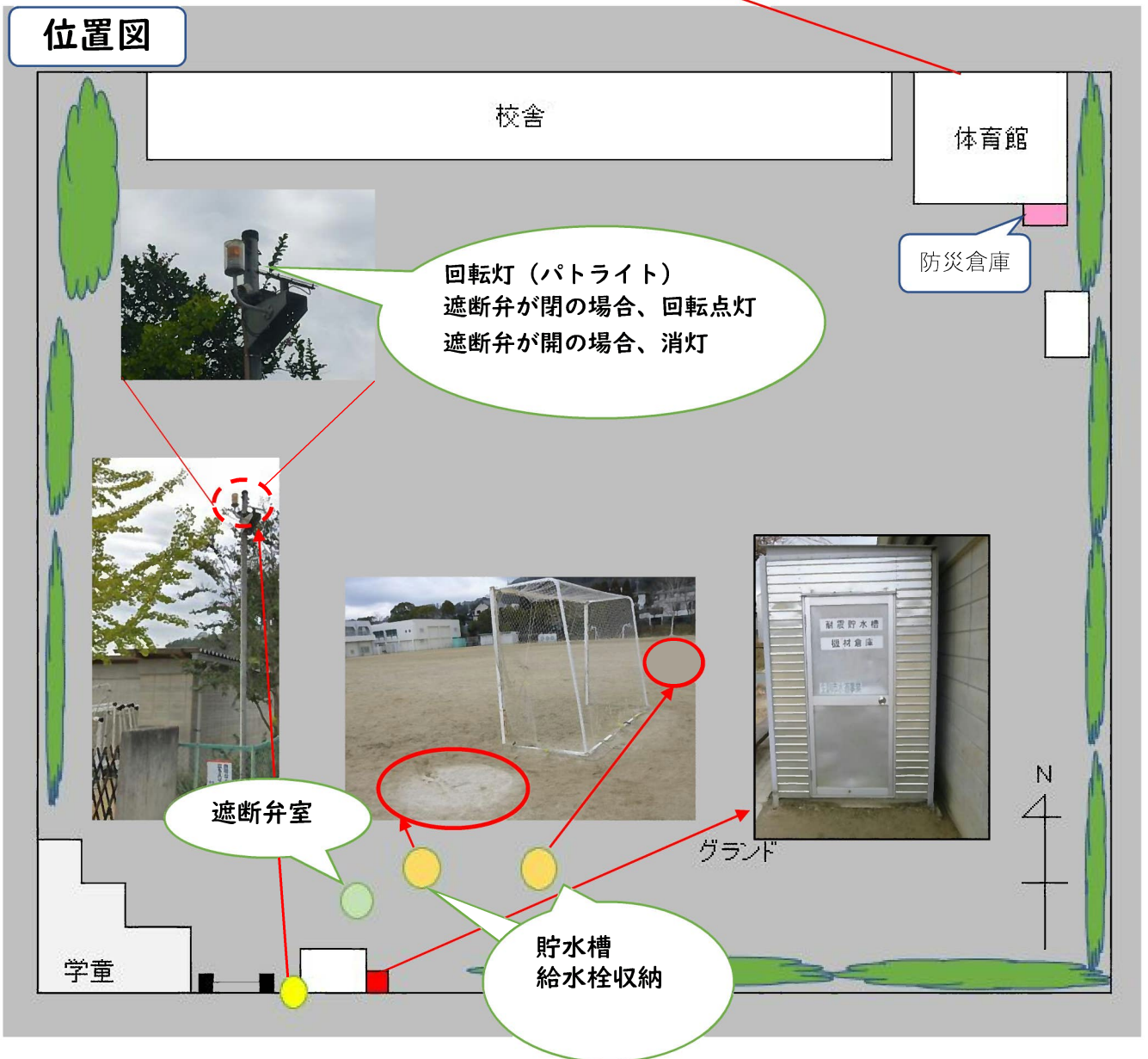
緊急耐震貯水槽から応急給水を行う為に必要な機材が入っています。

名称	数量
手動ポンプ	1台
給水スタンド	2台
給水ホース(長)	2本
給水ホース(短)	2本
マンホールキー	1本
プライヤー	1本
タオル	10枚
マニュアル	1冊

機材倉庫の鍵保管場所（体育館内の防災無線箱）





位置図





緊急耐震貯水槽の**操作手順書**

(1) 手押しポンプ（架台付）使用について


- ① 倉庫からホース・ポンプ等の器具を耐震貯水槽の設置場所まで運ぶ
- ② 2ヶ所ある給水口のマンホールの蓋を開ける
 - ・穴に入っている黒いゴムパッキンは、プライヤー等で取り外す

	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 生駒市水道局と記載がある方の下側の穴にマンホールキーのT字型になっている方を差し込む。 ❖ マンホールキーを穴に引っ掛けて、引き上げながら時計回り回す。 ※ 固く動かない場合は、左右上部の穴に十字バールのI字型になっている方を差し込みテコの原理で緩める。
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 転落防止用の格子を外す。 ※ 遮断弁が下りていない場合、バルブを開けると水が出て来る。

- ③ 給水ホースの口をマンホール内にある給水口に接続する。

	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 差し込んだ状態でカムロック（接続金具）のレバーを左右同時に手前（ホース側）に閉じる。 ❖ 軽く給水ホースを引っ張りロックが掛かっていることを確認する。
	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 給水口のバルブが開いていることを再度確認してから転落防止用の格子を閉じる。

- ④ ③で接続した給水ホースのもう一方の口を手押しポンプの吸込口側に接続する。

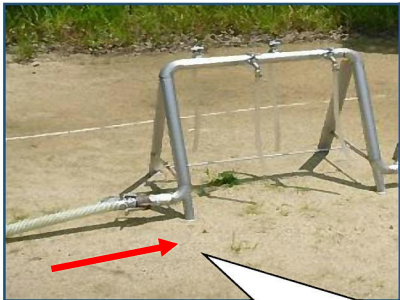
 <p>吸込口に接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 差し込んだ状態でカムロック（接続金具）のレバーを左右同時に手前（ホース側）に閉じる。 ❖ 軽く給水ホースを引っ張りロックが掛かっていることを確認する。
---	--

⑤ 手押しポンプの排水口側に給水ホースの口を差し込む



- ❖差し込んだ状態でカムロック（接続金具）のレバーを左右同時に手前（ホース側）に閉じる。
- ❖軽く給水ホースを引っ張りロックが掛かっていることを確認する。

⑥ ⑤で接続した給水ホースのもう一方の口を給水スタンドの水道用ボールバルブ（緑色）の無い側と接続する。



- ❖差し込んだ状態でカムロック（接続金具）のレバーを左右同時に手前（ホース側）に閉じる。
- ❖軽く給水ホースを引っ張りロックが掛かっていることを確認する。

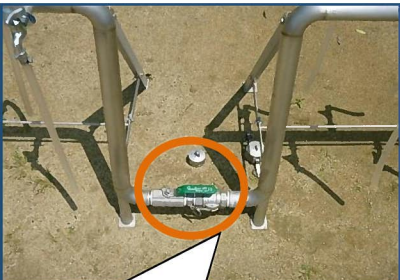
ポンプ吐出口側からを接続（差し込んだらカムロック（接続金具）の左右のレバーを同時にホース側に閉じる）

⑦ 給水スタンドの口をもう一つの給水スタンドと接続する（設置完了）



- ❖給水スタンドの口のキャップを外して、差し込み2台を転結させる。
- ❖差し込んだ状態でカムロック（接続金具）のレバーを左右同時に手前（閉開ハンドルのある側）に閉じる。

蓋を外し、カムロック（接続金具）のレバーを広げる。



- ❖水栓用ボールバルブの閉開ハンドル（緑色）を接続部と水平にすると2台目に注水可能となる。

接続後カムロック（接続金具）のレバーを戻し、ハンドルを水平に回す

生駒市内の拠点給水施設（共助・公助）

緊急耐震貯水槽	住所	容量
フォレストデイセンター鹿ノ台	生駒市鹿ノ台西1丁目5番地1	100m ³
生駒台小学校グラウンド	生駒市新生駒台1番33号	100m ³
南コミュニティセンター駐車場	生駒市小瀬町18番地	100m ³
生駒市役所駐車場	生駒市東新町8番38号	100m ³
生駒東小学校グラウンド	生駒市東生駒4丁目398番地110	100m ³
生駒中学校グラウンド	生駒市西松ヶ丘9番19号	100m ³

緊急用給水設備	住所	規模	内訳
稲倉配水池	小明町1806番地4	6,400m ³	3,200m ³ × 2
小瀬配水池	小瀬町1037番地2	5,000m ³	5,000m ³ × 1
真弓配水場	真弓3丁目8番24号	2,500m ³	2,500m ³ × 1
鹿ノ台配水場	鹿ノ台西3丁目16番3号	2,305m ³	105m ³ × 1 2,200m ³ × 1
ひかりが丘配水場	ひかりが丘3丁目6番3号	1,750m ³	1,750m ³ × 1



給水所（緊急用給水設備）

蛇口	2口	給水所として拠点給水に使用(水道水の配布)
採水口	1口	給水車での運搬給水用に使用(病院・社会福祉施設等へ)

給水所が開設されると、
 ○生駒市水道事業のホームページや新着情報メール、Twitter、広報車による巡回広報などで住民の皆様へ広報を行います。
 ○『給水所』の幟や看板等を設置します。

運搬給水（公助）

容量	数量	備考
2,700L	1台	加圧式
2,000L	2台	加圧式
1,800L	1台	加圧式
1,000L	1台	重力式



ご家庭で出来る水の備え

生駒市水道事業では、災害に備えてさまざまな対策を行っていますが、大きな災害が発生すると広い範囲で断水する可能性があります。普段からご家庭でも災害時の水の備えをお願いします。

災害に備えて（自助）

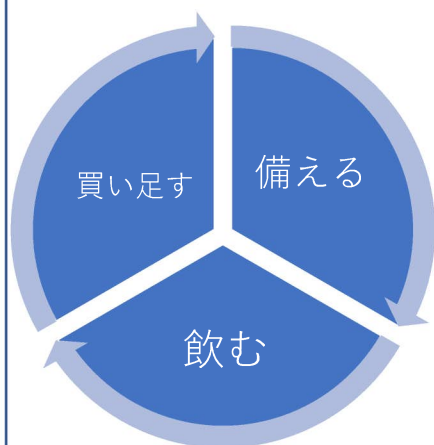
1. ご家庭でも水の備蓄を心がけましょう。

飲料水

地震や台風等の自然災害が発生すると断水が生じることが想定されます。そのような事態に備えて、普段から少し多めに食材と一緒に飲料水を買って置き、使ったら使った分だけ新しく買い足しておくことで、常に一定量の食料・飲料水を家に備蓄しておく日常備蓄（ローリングストック）が大切です。

人が1日に必要とされる水分は、約3リットル。災害に備えて最低3日分、出来れば南海トラフ等の大規模災害に備えて1週間～10日分の飲料水を確保しましょう。

飲料水：1人1日3リットル（目安）



水道水の備蓄

水道水は、塩素による消毒効果により3日程度は、飲料水として使用可能です。フタのできる清潔な容器に口もいっぱいまで水道水を入れて、しっかりとフタを閉め、直射日光を避けて、室温の低い所に保存しましょう。

※浄水器を通した水や白湯は、塩素効果が弱まるため長期保存には不向きです。又、保存期間(3日)が過ぎたら掃除や洗濯などに使いましょう。

長期保存型の水の備蓄

保存水と呼ばれるミネラルウォーターの賞味期限は、5年～10年。通常ミネラルウォーター（約2年程度）の2倍から5倍ほど長持ちするので、備蓄用の水として最適です。

その他の飲み物（お茶など）

水以外にも、日頃から飲んでいるお茶や清涼飲料水などがあれば一緒に用意しておきましょう。

生活用水

災害時には飲料水以外にも備蓄食材の調理や手洗い等に多くの生活用水が必要です。

手洗いや洗顔、調理等に使う基本的な生活用水：1人1日最低12～20リットル（目安）必要とされています。

水栓トイレ（使用できる場合）を流すことにも利用できる「お風呂の残り湯」。すぐに捨てずに貯めておくと、いざというとき役立ちます。給湯機を導入している場合は、タンクに貯まっているお湯や水を生活用水として使用することもできます。

※貯め置きの際には幼児の転落事故などにご注意ください。風呂の扉をロックするか水を貯めるのを止めるなどの判断も必要です。

2. 円滑な応急給水活動にご協力ください。

(1) フタが閉まる清潔な容器を持参する。

❖ 給水場所には水を運ぶための容器がないので、各自で容器を用意してください。

※水道事業の備蓄はありますが数に限りがあります。

❖ 蓋の閉まるポリタンクやペットボトルなどの容器を日ごろから準備しましょう。

※災害が起きてからでは売り切れになることもあります。



(2) リュックサックやキャリーバック、キャリーバックなどを準備する。

❖ 水は意外と重いものです。

例えば、1人あたり3日分として必要な水9リットルは、9kgにもなります。

❖ 容器を入れるリュックサックやキャリーバック、キャリーカートを用意しておくと便利です。



(3) 給水場所に行く時には、自動車は使用しないで下さい。

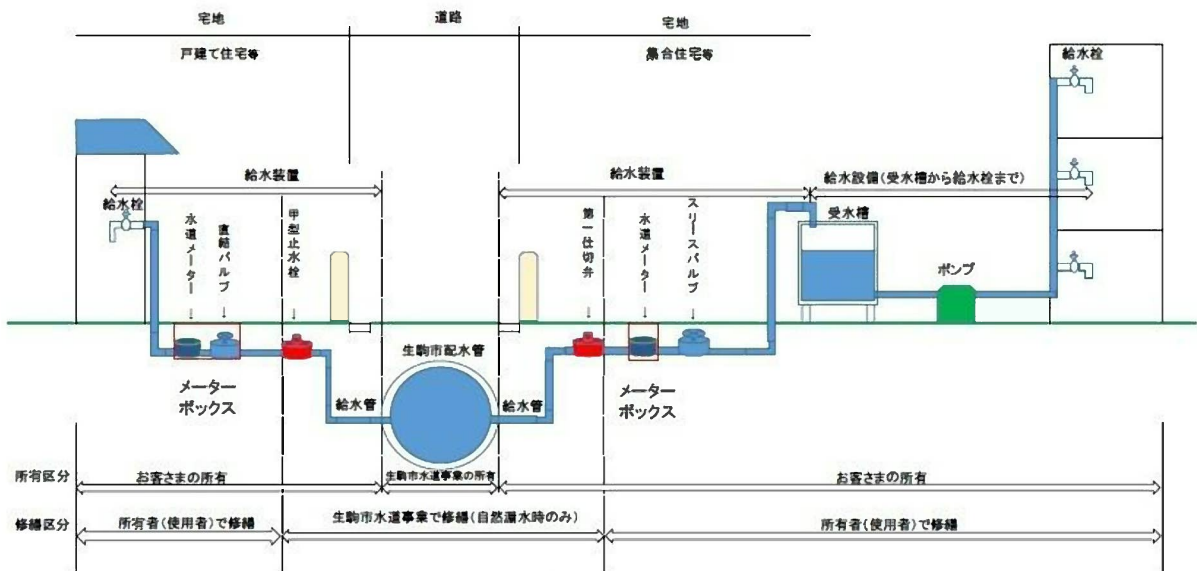
❖ 交通整理が適切に行えない状況が想定されるため、狭い場所で渋滞が発生したり、歩行者との事故が発生したり、危険な状況になる可能性があります。何卒、ご理解とご協力をお願いします。

給水場所への移動ルート上に交通規制が敷かれる可能性があります。

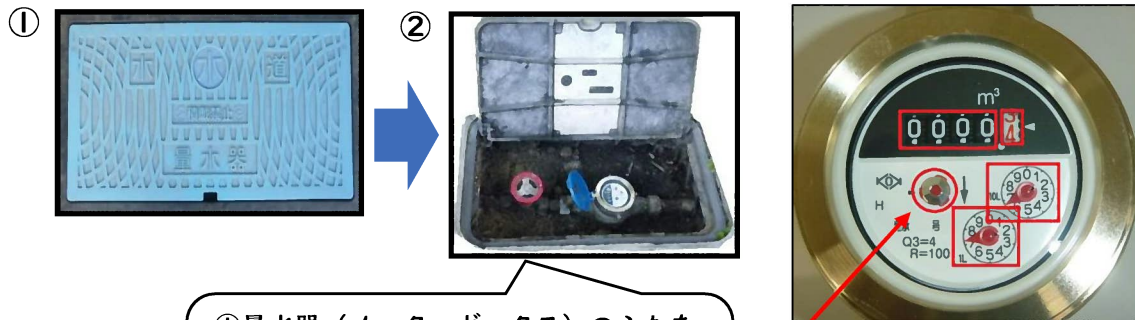
南海トラフ等の大規模な災害が発生した場合、災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために緊急車両の通行を確保すべき重要な路線に緊急輸送道路の指定といった交通規制が実施されます。この場合、基本的に緊急通行車両以外の通行が禁止、制限されます。

3. 水道の元栓（直結バルブ）の位置を確認しておきましょう。

宅内で漏水があると、水道本管復旧時の漏水発見に時間がかかり、通水時に水が噴出する危険性があります。自宅の給水管から漏水した場合や、避難所に行く場合は、水道の『元栓（直結バルブ）』を閉めて下さい。



※所有区分について、配水管(配水支管)が私設管の場合は、お客さま(所有者)のものとなります。
 ※修繕区分について、生駒市水道事業でメーターボックス内は修繕します。



- ①量水器（メーターボックス）のふたを開ける。
- ②直結バルブを固くなるまで閉める（右回り）

メーターボックス内の元栓（直結バルブ）を閉めた後、余裕がある場合は、宅内の各蛇口や貯湯式電気温水器機等の給水機器の専用止水栓が閉まっているか確認してください。

水道を使用（宅内に水が流れる）とパイロットマークが回転します。使用の覚えがないのに回転している場合は、漏水している可能性が高いです。